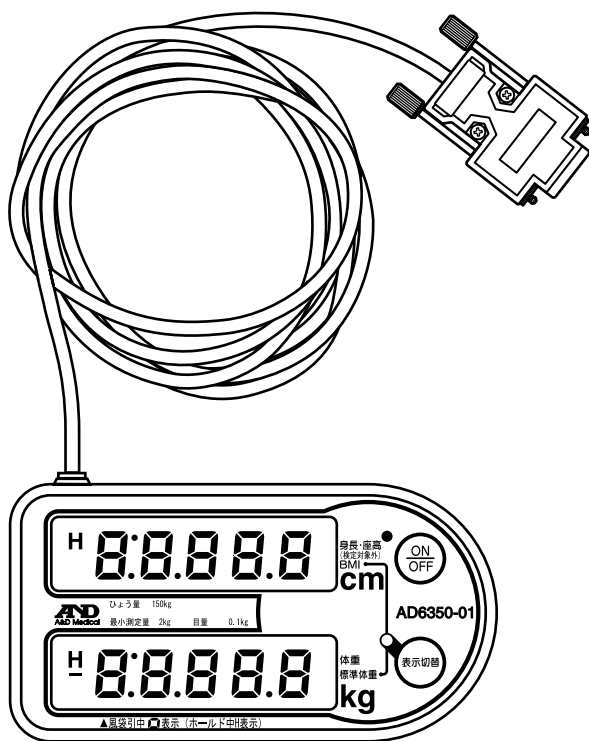


**A&D**  
A&D Medical

デジタル身長・体重計 AD-6350 用

# 外部表示ユニット

取扱説明書 AD6350-01



## ● 目次

目次	1
ご使用にあたっての注意事項	2
1. 各部の名称と機能	7
1-1 名称および表示部	7
1-2 仕様	8
2. 電池の設置・交換	9
3. 使用方法	10
3-1 外部表示ユニットの接続	10
3-2 測定値を表示する	10
3-2 BMI・標準体重を表示する	11
4. いろんな機能	12
4-1 オートパワーオフ機能	12
4-2 データ受信に関するエラー	12
4-3 電池残量警告（ローバッテリー）表示	12
4-4 計算不可表示	12
5. 機器の設定	13
5-1 オートパワーオフの設定	13
5-2 工場出荷時の設定	13
5-3 自己診断・修正機能	14
6. 使用前点検	15
6-1 電源投入前	15
6-2 電源投入後	15
7. 保守点検	16
7-1 電源投入前	16
7-2 電源投入後	16
8. こんな時には 故障かなと思う前に	17
9. 保証書および修理規定	18

## はじめに

この度はデジタル身長・体重計 AD-6350 用「外部表示ユニット」をお求めいただき、まことにありがとうございます。

「外部表示ユニット」はデジタル身長・体重計（AD-6350）が出力した測定値を受信することにより、離れた場所でも測定結果が確認できます。




この取扱説明書は本機器を正しくご使用いただくために必要な情報を記載しています。製品をご使用前に必ずお読みの上、十分に理解されてからお使いください。

また、いつでも取り出せるよう大切に保管してください。




## 注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 <b>危険</b>	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。具体的な注意事項は△の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合「分解禁止」を示します。
	Ⓛ記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容はⓁの中や近くに文書や絵で記され、左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。



この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。



- 1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 2) 個々に記載されている外観および仕様は予告なしに変更することがあります。カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。
- 3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4) 当社では、本機器の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、上記3)項にかかわらず如何なる責任も負いかねますのでご了承ください。

## 使用上 (安全および危険防止) の注意事項





本機器を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

### 1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。




 危険	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。</li></ul>

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・水のかからない場所。</li><li>・高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオン分などを含んだ空気にさらされない場所。</li><li>・暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。</li><li>・化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。</li><li>・室温が使用温度範囲内の場所。</li></ul></li><li><input type="checkbox"/> 製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・本機器を通行の妨げになる場所に放置しないこと。</li><li>・移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認すること。</li><li>・移動中に本体を壁や物などにつけないこと。 故障の原因になります。</li><li>・移動中は周囲の物にケーブルを引っかかないようにすること。</li><li>・乱暴に取り扱わないこと。 故障の原因になります。</li><li>・本機器を移動する時は、ケーブルを束ねて持ち移動すること。</li></ul></li></ul>




## 2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機器が安全かつ正確に動作すること。</li><li>・ 本体側への接続は、出力プラグを本体側に差し込み後、プラグの固定ネジ(×2)で固定すること。</li><li>・ ケーブルを束ねたまま使用しないこと。</li><li>・ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。</li><li>・ 安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。</li><li>・ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。</li></ul>
 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本機器の上に重いものを載せたり、本機器の下敷きにしらないこと。 火災・感電の原因になります。</li><li>・ 電池を交換する際は、全て新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないこと。 故障の原因になります。</li><li>・ 電池は+・-の極性に注意し、正しく設置すること。</li><li>・ 濡れた手で電池を交換しないこと。 感電の原因になります。</li><li>・ 充電電池(二次電池)は使用しないこと。</li></ul>



## 3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本機器は、デジタル身長・体重計のエラー表示もそのまま表示します。 エラー表示を確認した場合は、デジタル身長・体重計の表示と見比べ、どちらの機器がエラー表示しているか判断すること。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 強磁界および強電界中では使用しないこと。</li><li>・ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。</li><li>・ ボールペンなど尖った物で表示部のスイッチ等を押さないこと。 故障の原因になります。</li><li>・ ケーブルをまたいだり、飛び越えたりして遊ばないこと。</li></ul>




#### 4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。</li><li>・ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。 故障の原因になります。</li><li>・ 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておくこと。</li></ul>

#### 5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 測定者および被測定者の安全を確保すること。</li><li>・ 機器の動作を止め、電源を切り、電池を抜くこと。</li><li>・ 機器に「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。</li></ul>

#### 6. 保守・点検については次の点に注意してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ お手入れの際は、感電防止のため、電池を抜くこと。</li><li>・ しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。</li><li>・ 安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。 機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。使用前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本機器の分解、および改造は絶対にしないでください。ケガ、火災、感電の原因になります。</li></ul>

## 7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

### 注意

■ 本機器は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

一般的な原因と対策の一例をあげます。

【事例-1】 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用

- ・ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
- ・ 本機器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。

【事例-2】 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）

- ・ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。
- ・ 部屋を加湿する。

## 8. 環境保護

### 警告

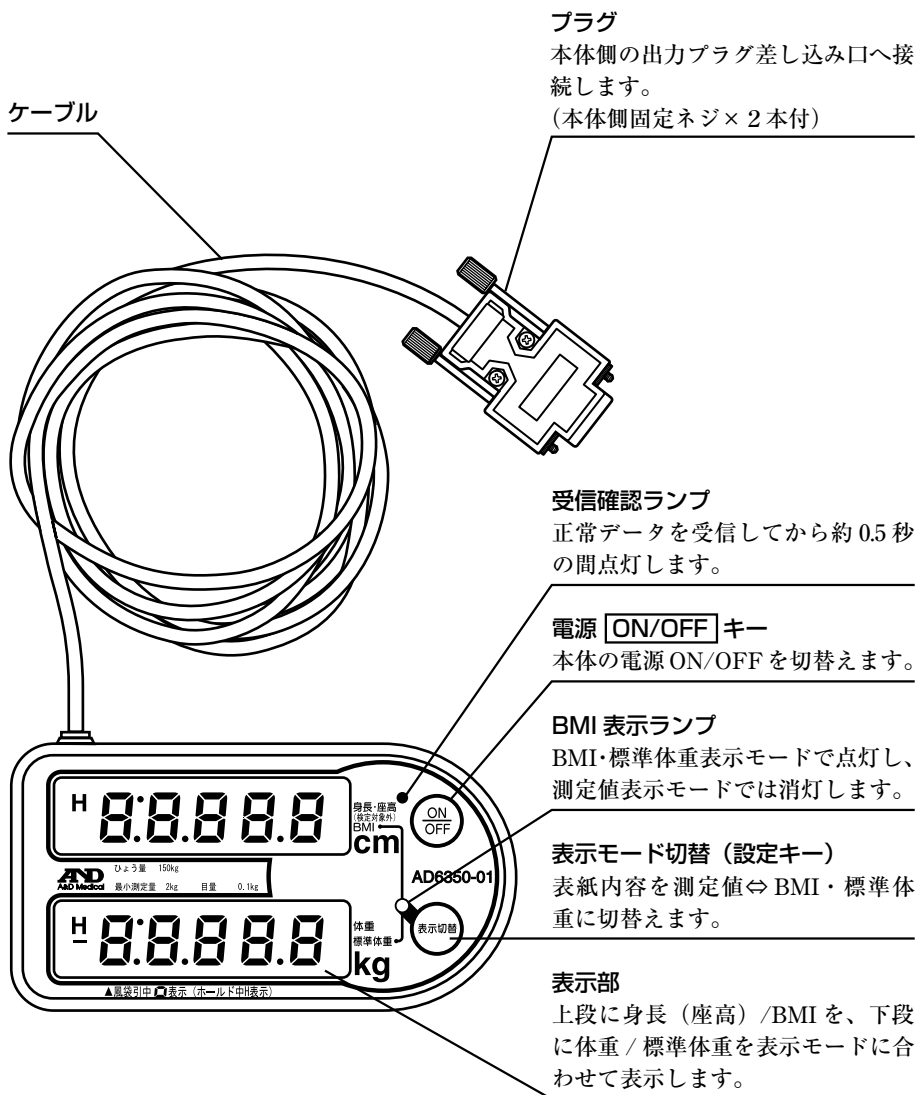


- ・ 本機器を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

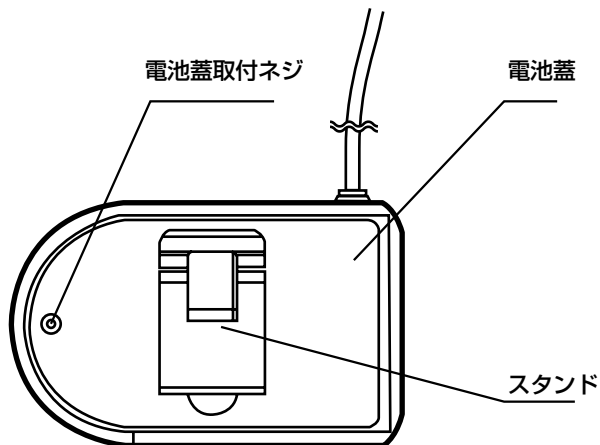
## 1. 各部の名称と機能

### ▼ 1-1 名称および表示部

測定値（身長・体重・座高）、エラー表示はデジタル身長・体重計（AD-6350）と同じ表示をします。







## ▼ 1-2 仕様

品番	AD6350-01
品名	外部表示ユニット
通信方式	RS-232C
表示	デジタル4桁 LCD表示
表示単位	0.1cm (1mm) / 0.1kg (100g)
機能	身長(座高) / 体重表示機能、BMI / 標準体重表示機能、オートパワーオフ機能、自己診断・修正機能
使用温度	0℃～+40℃
電源	単3形乾電池4本
重量(電池含む)	520g
外形寸法 (ケーブル除く)	170 (W) × 110 (L) × 55 (H) mm
ケーブル長	約 2.5m
材質	本体ケース / ABS樹脂

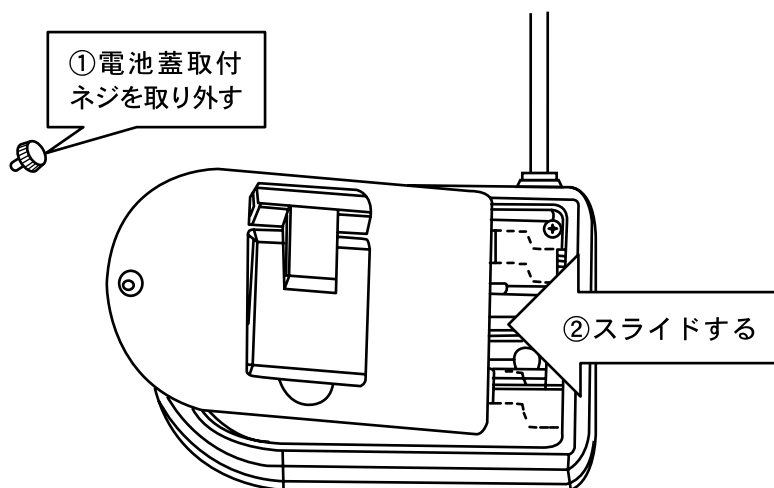
### ご注意

外部表示ユニットの設置について

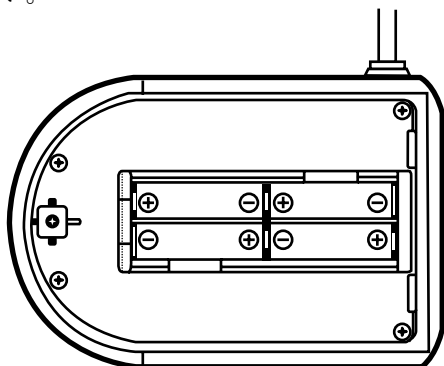
本機器を設置する際は、ケーブルに人がつまづかないようにご注意ください。  
けが、故障の原因になります。

## 2. 電池の設置・交換

1. 電池蓋取付ネジを取り外し、蓋をスライドさせて外します。



2. 電池の+・-の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。  
電池交換の場合は、消耗した乾電池を取りはずし、4本同時に全て新しい電池(単3)と交換してください。



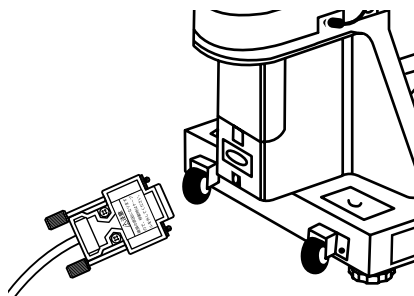
3. 蓋をスライドさせて本体にセットし、ネジを締めます。

### 3. 使用方法

#### ▼ 3-1 外部表示ユニットの接続

本機器のプラグを身長体重計側にある出力プラグ差し込み口へ接続し、プラグ固定ネジ(×2)で固定します。

(差し込む際はプラグの向きに注意してください。無理に差し込むと故障の原因になります。)



#### ご注意

デジタル身長・体重計の移動の際は、プラグを取り外してください。破損の原因になります。

#### ▼ 3-2 測定値を表示する

##### 1. 電源を ON する

電源 **ON/OFF** キーを押し、本体の電源を入れます。

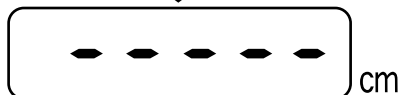
表示が全点灯 / 全消灯を 5 回繰り返します。



##### 2. 初期表示

電源 ON 後、約 2 秒間は表示部上段に **----** と表示されます。

※右図の下段 **F: 1.0** の表示は機器により異なります。



##### 3. 測定値の表示

初期表示の終了後、受信確認ランプが点灯し身長体重計と同様の内容が表示されます。

### 3. 使用方法 (つづき)

#### ▼ 3-3 BMI・標準体重を表示する

##### 1. 測定値を表示させる

「測定値を表示する」を参照し、測定値を表示させます。

##### 2. 表示モードを切り替える

**表示切替** キーを押し、「BMI・標準体重表示モード」に切り替えます。このとき BMI 表示ランプが点灯します。

##### ご注意

※BMI は身長 $\geq 1\text{m}$ 、体重 $\geq 10\text{kg}$  の場合のみ計算されます。

※標準体重は身長 $\geq 1\text{m}$  の場合のみ計算されます。


※計算できない場合は **no** を表示します。

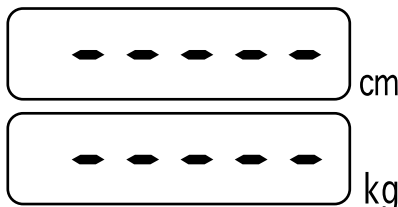
## 4. いろいろな機能

### ▼ 4-1 オートパワーオフ機能

データの通信やキー操作が一定時間確認できなかった場合、本機器は節電のため、自動的に電源 OFF します。(13 ページ「オートパワーオフの設定」を参照ください。)

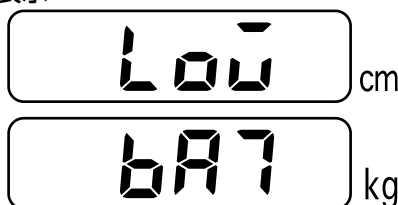
### ▼ 4-2 データ受信に関するエラー

初期表示終了後、データの受信が確認できない場合は表示部に  が表示されます。正常データの受信で測定値（または BMI/標準体重）が表示され復帰します。




### ▼ 4-3 電池残量警告（ローバッテリー）表示

本機器は常に電源電圧を監視しています。電池残量が少なくなったことを感知すると、低電圧（Low Battery）を意味する右記の表示をします。この表示が出た場合は、電池の交換を行ってください。



### ▼ 4-4 計算不可表示

BMI/標準体重表示モードの際、測定値が基準値を満たしていないか、座高計データを受信している場合は表示部に  が表示されます。

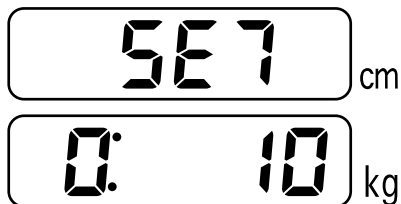
基準値については 10 ページ「BMI・標準体重を表示する」を参照ください。

## 5. 機器の設定

### ▼ 5-1 オートパワーオフの設定（自動節電機能）

#### 1. 設定モードへの移行

**表示切替** キーを押しながら、電源  
**ON/OFF** キーを押して電源 ON すると、  
オートパワーオフの設定が可能となります。



#### 2. オートパワーオフの設定を切り替える

初期表示終了後、現在の設定値が点滅表示されます。

**表示切替** キーを押すごとに、点滅部分の表示が変わります。

0 : 10      オートパワーオフ 10分  
0 : 30      オートパワーオフ 30分  
0 : OFF     なし

いずれかに設定してください。

#### 3. 電源 OFF する

電源 **ON/OFF** キーを押し、電源 OFF します。

このとき設定値が保存され、次回電源 ON 時に設定が反映されます。

### ▼ 5-2 工場出荷時の設定

工場出荷時のオートパワーオフは 10 分に設定されています。

### ▼ 5-3 自己診断・修正機能

外部表示ユニットには自己診断・修正機能が設定されています。

SE7 cm

Err 1 kg

CLr cm

End kg

Err1…設定値エラー  
Err5…設定記録時のエラー

**表示切替** キーを押すと CLr、End が表示され、修正処理が完了します。一度電源 OFF してください。

## 6. 使用前点検



・安全に正しく使用するため使用前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用する時、以下の使用前点検を行ってください。

### ▼ 6-1 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題ないことを確認してご使用ください。

- ・本体、ケーブルも含め変形や破損はないか。
- ・汚れがひどくないか。
- ・濡れていないか。
- ・本体の接続プラグは、固定ネジ（×2）で固定されているか。

### ▼ 6-2 電源投入後

- ・けむりが出たり、変なにおいはないか
- ・異常な音が聞こえないか
- ・表示上で異常はないか



## 7. 保守点検

装置を正しくお使いいただくために、定期的に保守点検を実施してください。保守点検の主な内容は以下の通りです。

### ▼ 7-1 電源投入前

項目	内容
外観	落下等による変形、破損の有無
	各部の汚れ、サビ、傷の有無
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	画面の汚れ、傷の有無
接続ケーブル	接続ケーブルの上に、重いもの、イス、本体等がのっていないこと

### ▼ 7-2 電源投入後

項目	内容
外観	けむりが出たり、変なにおいがしないこと
	異常な音がしないこと
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	表示装置のマーク、記号、数字等の表示欠けの有無
データ処理	測定値を表示確認し異常がないこと
電源部	電源電圧を確認し異常がないこと

・機器に異常がある場合は、点検にお出してください。

## 8. こんな時には……故障かな？と思う前に

修理依頼される前に、もう一度ご確認ください。

現象	確認または調整
表示が時々 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">-----</span> になることがある。	<p>正常受信ができなかった場合、左記のバー表示になります。頻繁に発生する場合はプラグの付け直しなどを行ってみてください。</p>
身長も体重も <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">-----</span> 表示から復帰しない。	<p>接続ケーブルはしっかりと繋がっていますか？                      プラグの差し込みがあまい場合はしっかりと差し込んでください。                      デジタル身長・体重計の電源は ON になっていますか？                      デジタル身長・体重計は外部表示ユニットに対応していますか？                      デジタル身長・体重計の電源 ON 時、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F: 2.1</span> 以降の表示を確認してください。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">F: 2.0</span> 以前では本機器はご使用いただけません。</p> <p style="text-align: center;">5 回点滅</p> <div style="text-align: center;"> <p>The diagram shows a transition from a display with two rows of '8888' to a display with 'ERSY' and 'F: 2.1'. Above the first '8888' row, there are five vertical lines, each with a short horizontal tick at the top, representing a 5-dot blink. An arrow points from the first display to the second.</p> </div> <p>上記についても併せてご確認ください。</p>
身長や体重の値が現実的でない。	<p>BMI/標準体重表示モードになっていませんか？                      BMI 表示ランプが点灯していないか確認してください。</p>

## 9. 保証書および修理規定

# 保証書

品名：外部表示ユニット

品番：AD6350-01

有効保証期間：1ヶ年

この保証書は本書記載の内容により無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に正常なご使用において万一、故障が発生しましたときは製品と本書を最寄りの当社営業所にご送付ください。

お客様	ご芳名	
	ご住所	
		〒 TEL
	お買上げ日	平成 年 月 日
販売店	店名	(印)
	住所	TEL

株式会社 **エー・アンド・デイ**

## 無料保証規定

本機器が取扱説明書等に従う正常な使用状態において故障した場合は、お買い上げの日より1ヶ年無料修理いたします。保証期間内に故障して無料修理を受けられる場合は製品と本書を最寄りの当社営業所まで送付ください。保証期間内でも右記の場合は有償になります。

- 誤用、乱用による故障や取扱い不注意による故障
- 火災、地震、水害、落雷などによる故障、損傷
- 不適當な修理や改造による故障
- 本書の送付のない場合、および本書に必要事項（お買い上げ日、販売店）のない場合

本書は日本国内のみ有効です。

# AND株式会社 エー・アンド・デイ

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

## 製品に関するご質問・ご相談窓口

受付時間 AM9:00～PM6:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

本社

計量器・天びん・計測器・試験機  
メデイカル機器・家庭用健康機器

TEL. 03-5391-6126 (直) FAX. 03-5391-6129

TEL. 03-5391-6127 (直) FAX. 03-5391-6129

札幌出張所

TEL. 011-251-2753 (代) FAX. 011-251-2759

仙台出張所

TEL. 022-211-8051 (代) FAX. 022-211-8052

東京北営業所

TEL. 048-592-3111 (代) FAX. 048-592-3117

東京南営業所

TEL. 045-476-5231 (代) FAX. 045-476-5232

静岡出張所

TEL. 054-286-2880 (代) FAX. 054-286-2955

名古屋営業所

TEL. 052-701-5681 (代) FAX. 052-701-5683

大阪営業所

TEL. 06-4805-1204 (代) FAX. 06-4805-1201

広島営業所

TEL. 082-233-0611 (代) FAX. 082-233-7058

福岡営業所

TEL. 092-441-6715 (代) FAX. 092-411-2815

## 製品の技術問い合わせ・修理の受付窓口

受付時間 AM9:00～PM5:30 月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

開発・技術センター FE部

〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243

技術問い合わせ

TEL. 048-593-1743 (直) FAX. 048-593-1483

修理の受付

TEL. 048-593-1459 (直) FAX. 048-593-1483

名古屋営業所 FE課

〒465-0044 名古屋市長区小井堀町402

TEL. 052-701-5681 (代) FAX. 052-701-5683

大阪営業所 FE課

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-1-3

TEL. 06-4805-1208 (直) FAX. 06-4805-1201

広島営業所 FE課

〒733-0037 広島市西区西観音町9-7

TEL. 082-233-0611 (代) FAX. 082-233-7058

福岡営業所 FE課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-5-8

TEL. 092-441-6715 (代) FAX. 092-411-2815

●電話番号、ファクシミリ番号は、予告なく変更される場合があります。

\*電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。